



2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月27日

上場会社名 株式会社ルックホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 8029 URL <https://www.look-holdings.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 和洋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 齊藤 正明 (TEL) 03-6439-1701
 経理担当
 四半期報告書提出予定日 2020年8月28日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・プレス向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	16,920	△20.6	△684	—	△544	—	△725	—
2019年12月期第2四半期	21,307	△0.9	645	61.6	759	53.8	469	18.8

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 △1,781百万円(—%) 2019年12月期第2四半期 △258百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	△94.50	—
2019年12月期第2四半期	61.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	44,367	22,267	50.0
2019年12月期	47,214	24,230	51.1

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 22,178百万円 2019年12月期 24,136百万円

(注) 当第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度の関連する主要な経営指標等について、暫定的な会計処理の確定の内容を反映しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	38,000	△13.5	300	△82.0	500	△72.0	100	△95.1
								13.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細につきましては、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年12月期 2 Q	7,704,613株	2019年12月期	7,689,413株
2020年12月期 2 Q	10,509株	2019年12月期	10,367株
2020年12月期 2 Q	7,682,336株	2019年12月期 2 Q	7,660,225株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる場合があります。業績予想に関しましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10
(企業結合等関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛や企業への休業要請等を背景に、企業活動や個人消費が制限され、経済活動は大きく減退しました。緊急事態宣言解除後は、経済活動の再開に伴い一部回復の兆しが見られましたが、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当アパレル・ファッション業界におきましても、緊急事態宣言発出に伴う店舗の臨時休業や営業時間の短縮、海外からの渡航者入国制限によるインバウンド需要の激減、外出自粛によるお客さまの来店の減少等が影響し、極めて厳しい状況となりました。

このような状況の中、当社グループは、成長販路であるEC事業を強化し、売上の拡大をはかりました。また仕入の調整による在庫品の圧縮や営業費用の削減など、店舗での販売が厳しい環境で、様々な施策に取り組んでまいりました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は169億2千万円(前年同期比20.6%減)、営業損失は6億8千4百万円(前年同期は6億4千5百万円の営業利益)、経常損失は5億4千4百万円(前年同期は7億5千9百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は7億2千5百万円(前年同期は4億6千9百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメント別の業績の概況は次のとおりであります。

(アパレル関連事業)

「日本」につきましては、政府の緊急事態宣言発出を受け、およそ2か月に及ぶ店舗休業等により極めて厳しい販売状況となりましたが、3月のEC物流の内製化に合わせて店舗・ECの在庫連携機能を強化し、店舗休業期間中においては、ECへ商材を集約するなど、更なるお客さまの利便性向上に努めた結果、インポート雑貨ブランドの「イル ビゾンテ」「マリメッコ」を中心にEC事業の売上は大幅に増加いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は90億7千5百万円(前年同期比30.1%減)、営業損失は1億1千1百万円(前年同期は3億4千9百万円の営業利益)となりました。

「韓国」につきましては、株式会社アイディー・ルックにおいて、新型コロナウイルス感染症の影響により店舗での販売が厳しい状況となりましたが、5月以降は店舗での売上も前年並みに回復いたしました。また、デジタルマーケティング(ライブ配信による販売やSNSの活用等)が奏効したことによりEC事業の売上が増加いたしました。株式会社アイディー・ジョイにおいても同様に、5月以降は売上が前年並みに回復いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は68億4千9百万円(前年同期比13.6%減)、営業利益は6千5百万円(前年同期比78.8%減)となりました。

「欧州」につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、イタリアやフランスの直営店舗が長期休業しましたが、主力の卸売事業が堅調に推移いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は14億2千3百万円、営業利益は1億6千2百万円となりました。

「その他海外」(香港・中国・米国)につきましては、ルック(H.K.) Ltd.(香港)では、新型コロナウイルス感染症拡大に加え政情不安などの影響もあり、売上高が前年から減少いたしました。洛格(上海)商貿有限公司においては、既存事業のEC売上が増加いたしました。また、2019年7月1日に子会社化したIl Bisonte S.p.A.の米国等の子会社が連結子会社となったことにより売上高は増加したものの、直営店舗の長期休業により営業損失を計上いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1億9千6百万円(前年同期比44.0%増)、営業損失は5千9百万円(前年同期は1千2百万円の営業利益)となりました。

これらの結果、アパレル関連事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は175億4千5百万円(前年同期比16.7%減)、営業利益は5千7百万円(前年同期比91.5%減)となりました。

(生産及びOEM事業)

「生産及びOEM事業」につきましては、株式会社ルックモードにおいて、新型コロナウイルス感染症の影響による受注の減少に伴い売上高が減少いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10億4千6百万円(前年同期比19.7%減)、営業損失は7千2百万円(前年同期は2千6百万円の営業損失)となりました。

(物流事業)

「物流事業」につきましては、株式会社エル・ロジスティクスにおいて、店舗の休業に伴う出荷業務は減少したものの、ECの物流機能の内製化によりEC販路の取扱いが増加したことにより、売上高が増加いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5億4千3百万円(前年同期比4.5%増)となりましたが、人件費や運送費等が増加したことにより、営業損失は3百万円(前年同期は8百万円の営業利益)となりました。

(飲食事業)

「飲食事業」につきましては、株式会社ファッションナブルフーズ・インターナショナルが展開する「ジェラテリア マルゲラ」において、政府の緊急事態宣言発出を受け店舗休業を実施したため売上高が減少いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1千8百万円(前年同期比35.7%減)、営業損失は1千6百万円(前年同期は1千1百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による売上高の減少及び季節要因により受取手形及び売掛金が10億9千2百万円、商品及び製品が8億5千8百万円、時価の下落により投資有価証券が6億4千2百万円、それぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ28億4千6百万円減少し、443億6千7百万円となりました。

負債は、季節要因及び新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより支払手形及び買掛金が9億7千7百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ8億8千4百万円減少し、221億円となりました。

純資産は、利益剰余金が9億5千6百万円減少したことに加え、時価の下落によるその他有価証券評価差額金が4億8千6百万円、為替レートの変動による為替換算調整勘定が5億3千4百万円それぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ19億6千2百万円減少し、222億6千7百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は、50.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ6億2千2百万円減少し、56億9百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失は8億2千6百万円となり、増加要因として売上債権の減少9億7千7百万円、たな卸資産の減少9億6百万円、減少要因として仕入債務の減少9億9百万円などにより、4千5百万円の収入(前年同期は17億8千2百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出14億4千1百万円があったことなどにより、14億6千8百万円の支出(前年同期は8億4百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額2億2千8百万円などがありましたが、借入金の純増額11億6千7百万円などにより、9億2千万円の収入(前年同期は12億4百万円の収入)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の通期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が当社グループに与える影響について、合理的に算定することが困難なことから未定としておりました。

5月下旬の緊急事態宣言解除後は、主販路の店舗が営業を再開し、当社グループの売上は回復しておりますが、外出自粛等による消費の低迷は当連結会計年度末まで継続すると想定したうえで、現時点において入手可能な情報を基に算定いたしました。

なお、詳細につきましては、本日(2020年8月27日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,444	5,819
受取手形及び売掛金	5,140	4,047
商品及び製品	9,043	8,185
仕掛品	1,044	666
原材料及び貯蔵品	557	693
その他	981	1,079
貸倒引当金	△46	△38
流動資産合計	23,164	20,451
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,330	1,501
土地	540	445
その他（純額）	1,044	1,634
有形固定資産合計	2,915	3,581
無形固定資産		
マーケティング関連資産	10,591	10,283
のれん	3,337	3,211
その他	212	231
無形固定資産合計	14,141	13,726
投資その他の資産		
投資有価証券	2,539	1,897
退職給付に係る資産	358	253
繰延税金資産	1,440	1,774
敷金	2,429	2,309
その他	399	545
貸倒引当金	△175	△172
投資その他の資産合計	6,992	6,607
固定資産合計	24,049	23,915
資産合計	47,214	44,367

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,651	1,674
短期借入金	10,890	3,199
1年内返済予定の長期借入金	120	401
未払金	274	149
未払費用	2,339	1,871
未払法人税等	327	191
未払消費税等	257	128
返品調整引当金	16	8
賞与引当金	134	129
ポイント引当金	45	40
資産除去債務	80	46
その他	559	253
流動負債合計	17,699	8,095
固定負債		
長期借入金	1,239	9,981
繰延税金負債	3,198	3,070
退職給付に係る負債	310	358
役員退職慰労引当金	—	51
資産除去債務	220	234
その他	315	308
固定負債合計	5,284	14,005
負債合計	22,984	22,100
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,374	6,380
資本剰余金	1,655	1,661
利益剰余金	15,490	14,533
自己株式	△12	△12
株主資本合計	23,508	22,563
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,023	536
繰延ヘッジ損益	2	9
為替換算調整勘定	△396	△931
その他の包括利益累計額合計	628	△385
非支配株主持分	93	89
純資産合計	24,230	22,267
負債純資産合計	47,214	44,367

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	21,307	16,920
売上原価	10,753	8,690
売上総利益	10,554	8,229
販売費及び一般管理費	9,908	8,914
営業利益又は営業損失(△)	645	△684
営業外収益		
受取利息	14	12
受取配当金	39	40
為替差益	18	—
その他	72	171
営業外収益合計	145	224
営業外費用		
支払利息	10	49
為替差損	—	12
固定資産除却損	3	4
その他	17	18
営業外費用合計	32	84
経常利益又は経常損失(△)	759	△544
特別利益		
助成金収入	—	386
関係会社貸倒引当金戻入額	3	—
資産除去債務戻入益	1	15
その他	0	—
特別利益合計	5	402
特別損失		
臨時休業等による損失	—	551
減損損失	6	71
投資有価証券評価損	—	21
ブランド撤退損失	24	—
倉庫移転費用	—	15
本社移転費用	52	—
その他	—	24
特別損失合計	83	684
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	681	△826
法人税等	211	△101
四半期純利益又は四半期純損失(△)	469	△724
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	469	△725

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	469	△724
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△181	△487
繰延ヘッジ損益	△53	7
為替換算調整勘定	△493	△577
その他の包括利益合計	△728	△1,057
四半期包括利益	△258	△1,781
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△269	△1,778
非支配株主に係る四半期包括利益	11	△3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	681	△826
減価償却費	393	528
のれん償却額	—	83
減損損失	6	71
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△12
賞与引当金の増減額(△は減少)	21	△5
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△15	△7
ポイント引当金の増減額(△は減少)	0	△4
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△77	102
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	30	49
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	30	51
受取利息及び受取配当金	△54	△52
支払利息	10	49
助成金収入	—	△386
固定資産除却損	3	5
投資有価証券評価損益(△は益)	—	21
ブランド撤退損失	24	—
為替差損益(△は益)	0	15
売上債権の増減額(△は増加)	1,211	977
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,090	906
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,141	△909
前渡金の増減額(△は増加)	△62	38
未収入金の増減額(△は増加)	15	98
未払費用の増減額(△は減少)	△105	△448
未払消費税等の増減額(△は減少)	73	△43
その他	△32	△21
小計	2,101	281
利息及び配当金の受取額	51	53
利息の支払額	△10	△37
法人税等の支払額	△358	△284
助成金の受取額	—	33
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,782	45
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△380	△421
定期預金の払戻による収入	532	421
有形固定資産の取得による支出	△255	△1,441
有形固定資産の売却による収入	—	34
無形固定資産の取得による支出	△23	△71
投資有価証券の取得による支出	△1	△104
貸付けによる支出	△43	△9
貸付金の回収による収入	13	16
敷金の差入による支出	△643	△64
敷金の回収による収入	29	179
出資金の払込による支出	△24	△3
その他	△6	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△804	△1,468

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,050	1,269
短期借入金の返済による支出	—	△8,953
長期借入れによる収入	—	9,139
長期借入金の返済による支出	△350	△288
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△227	△228
非支配株主への配当金の支払額	△232	△0
非支配株主への払戻による支出	△7	—
リース債務の返済による支出	△27	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,204	920
現金及び現金同等物に係る換算差額	△144	△120
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,039	△622
現金及び現金同等物の期首残高	5,830	6,231
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,869	5,609

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当社及び一部の連結子会社において、税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合については、重要な加減算項目を加味し、法定実効税率を使用して計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	アパレル関連事業					生産 及び OEM事業	物流 事業	飲食 事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	韓国	欧州	その他 海外	計						
売上高											
外部顧客への 売上高	12,967	7,907	—	136	21,011	255	11	28	21,307	—	21,307
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	23	16	—	—	39	1,047	507	—	1,595	△1,595	—
計	12,990	7,924	—	136	21,051	1,303	519	28	22,903	△1,595	21,307
セグメント利益 又は損失(△)	349	310	—	12	671	△26	8	△11	641	4	645

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額はセグメント間の取引に関わる調整額1,025百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,021百万円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

[関連情報]

地域ごとの情報

売上高

(単位：百万円)

日本	韓国	欧州	香港	中国	米国	合計
13,263	7,907	—	89	46	—	21,307

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	アパレル関連事業					生産 及び OEM事業	物流 事業	飲食 事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	韓国	欧州	その他 海外	計						
売上高											
外部顧客への 売上高	9,058	6,820	543	196	16,618	242	42	18	16,920	—	16,920
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	17	29	880	—	927	804	501	—	2,232	△2,232	—
計	9,075	6,849	1,423	196	17,545	1,046	543	18	19,153	△2,232	16,920
セグメント利益 又は損失(△)	△111	65	162	△59	57	△72	△3	△16	△35	△648	△684

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、マーケティング関連資産及びのれんの償却額△259百万円、セグメント間の取引に関わる調整額762百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,152百万円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

2019年7月1日に行われたBisonte Italia Holding S.r.l.との企業結合について前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第2四半期連結会計期間に確定しております。これにより「アパレル関連事業」全体に係るものとして「調整額」に含めているのれんが減少しております。

詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(企業結合等関係)」に記載のとおりであります。

[関連情報]

地域ごとの情報

売上高

(単位:百万円)

日本	韓国	欧州	香港	中国	米国	合計
9,360	6,820	543	103	69	23	16,920

(注) 欧州に属する主な国または地域: イタリア、フランス

(企業結合等関係)

企業結合に係る暫定的な処理の確定

2019年7月1日に行われたBisonte Italia Holding S.r.l.との企業結合について前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第2四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、暫定的に算定されたのれんは11,223百万円は、会計処理の確定により7,789百万円減少し、3,434百万円となっております。のれんの減少は、マーケティング関連資産が10,807百万円、繰延税金負債が3,015百万円それぞれ増加したこと等によるものです。また、前連結会計年度末ののれんは7,605百万円、為替換算調整勘定は38百万円それぞれ減少し、マーケティング関連資産は10,591百万円、繰延税金負債は2,955百万円、利益剰余金は69百万円それぞれ増加しております。

なお、のれん以外の無形資産に配分されたマーケティング関連資産の償却期間は30年であります。